

| | | | | | | |
|------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 総合科目〈総合科目〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 日本国憲法 | | | 11329 | I | 秋 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 浅野 宜之 | 選択 | 2 | | | | |

授業の到達目標

この講義を通じて、学生はニュース報道などで断片的に見聞きする「基本的人権」や「統治機構」とは憲法上いかなるものであるのか、系統的に理解できるようにする。国会が制定する法律や、政府の遂行する政策には時に憲法に違反する疑いのあるものもみられる。これらについて、批判的に検討することができるようになる。KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を養うことになる。

授業の概要

この講義では、法律について専門的に学んだことがないという前提の下、日本国憲法に関する基礎的な知識をつけることを目的とする。講義では教科書のほか、パワーポイントとこれにもとづく資料プリントを使用する。まず日本国憲法の原理と制定過程について学んだ後、基本的人権について重要なものを取り上げ、解説する。続いて、統治機構についてそれぞれの組織を取り上げながらその活動の概要を学ぶ。

授業計画

- 1 日本の憲法の位置づけ:大日本帝国憲法と日本国憲法
- 2 平和主義
- 3 国会
- 4 内閣と地方自治
- 5 裁判所
- 6 人権の歴史と享有主体
- 7 人権の制限、二重の基準論
- 8 個人の尊重と幸福追求権
- 9 法の下での平等
- 10 思想、良心、信教の自由
- 11 表現の自由
- 12 生存権:健康で文化的な最低限度の生活を営む権利
- 13 学問の自由と教育の自由、教育を受ける権利と労働権
- 14 経済的自由
- 15 刑事手続き、適正手続の保障

授業の方法

パワーポイントと資料を使用して講義を進める。

準備学修

教科書とさまざまな報道資料をみて準備すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、期末レポート70%
講義内にミニレポートを課した場合は次回以降の講義でフィードバックを行う。
(期末レポート実施日程については講義内で連絡する)

欠席について

正当な事由あるときは、必ず連絡をすること。
(欠席過多の場合定期試験受験資格を失う)

テキスト

『憲法入門！市民講座』大久保卓治ほか編（法律文化社）

参考図書

『憲法判例百選I、II』（有斐閣）
『憲法（第八版）』芦部信喜（岩波書店）

| | | | | | | |
|------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 総合科目〈総合科目〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 健康科学 | | | 11333 | I | 秋 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 殿垣 哲也 | 選択 | 1 | 県立高等学校教員 | | | |

授業の到達目標

本講義では、持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）に掲げられている、現代社会における諸問題、特に保健（環境汚染）、気候変動について深く掘り下げ、将来持続可能な社会を担う学生が、生涯における自身の健康管理だけではなく、社会の一員として活躍するための知識と実践力を身につける。この授業では、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、I（知性）およびS（奉仕）を養う。

授業の概要

講義形式および適宜アクティブラーニング（グループディスカッション）を行う。
保健（環境汚染）に関する知識として、水俣病を取り上げ、環境汚染が社会に及ぼす影響について理解を深める。
気候変動に関する知識として、地球温暖化のメカニズムとその地球規模での対策の重要性を理解し、実践力を養う。
なお、授業に関する感想と意見を書き込む授業ノートを作成し、次の授業ではグループディスカッションで意見等を交流させ、双方向での学習の場とする。

授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 講義内容、授業の進め方、評価方法について説明
- 3 環境汚染について考える①
- 4 水俣病について
- 5 環境汚染について考える②
- 6 水俣病について
- 7 環境汚染について考える③
- 8 水俣病について
- 9 環境汚染について考える④
- 10 水俣病について
- 11 気候変動について考える①
- 12 地球温暖化について
- 13 気候変動について考える②
- 14 地球温暖化について
- 15 まとめ
- 16 評価テスト

授業の方法

授業に関する感想と意見を書き込む授業ノートを作成し、次の授業ではグループディスカッションで意見等を交流させ、双方向での学習の場とする。

準備学修

日常や社会における健康に関する諸問題について、新聞やメディアなどを通じて意識を高めておく。
(Webで参照すること)

課題・評価方法、その他

- 1) レポート: 受講した授業内容から選択し、レポートを提出する
- 2) 評価方法: 定期試験: 70%, 授業時の感想ノート: 30%

欠席について

神戸海星女子学院大学の欠席条件に合わせる。

テキスト

使用しない。

| | | | | | | |
|------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 総合科目〈総合科目〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 健康スポーツ 1 | | | 11337 | I | 秋 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 殿垣 哲也 | 選択 | 1 | 県立高等学校教員 | | | |

授業の到達目標

本講義では、近代スポーツを教材化し、みんなが楽しめるスポーツを体験し、スポーツ文化を創造していく過程を学ぶことで、主体者としてスポーツに関わっていくことができるようにする。また、スポーツの上手い下手で固定的な縦の価値観を持つのではなく、みんなで上手くなる水平の価値観に変革する。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、A（自律）I（知性）及びS（奉仕）を養う。

授業の概要

ゴール型、ベースボール型の教材をさらに教材化し、初心者と上級者をつなぎ、みんなで楽しみ上手くなることを目指す。
ゴール型ではアメリカンフットボールを安全に配慮したフラッグフットボール、ベースボール型では3人対3人で行うベース3on3を教材として行う。

授業計画

- オリエンテーション
フラッグフットボール①
基礎技術の習得
- フラッグフットボール②
1対1、2対2の攻防
- フラッグフットボール③
2対2の攻防
- フラッグフットボール④
2対2の攻防
- フラッグフットボール⑤
2対2の攻防
- フラッグフットボール⑥
3対3の攻防と作戦づくり
- フラッグフットボール⑦
3対3のゲーム
- フラッグフットボール⑧
3対3のリーグ戦
- フラッグフットボール⑨
3対3のリーグ戦
授業のまとめ

- ベース3on3①
基礎技術の練習、2対2の攻防
- ベース3on3②
3対3の戦略・戦術づくり
- ベース3on3③
3対3のゲーム
- ベース3on3④
3対3のゲーム
- ベース3on3⑤
3対3のリーグ戦
- ベース3on3⑥
3対3のリーグ戦
授業のまとめ

授業の方法

実技中心の授業である。
正当な事由があるときは見学とレポート提出を課す。

準備学修

スポーツに関心を持ち、ニュース、新聞、Web等でスポーツに関する情報を獲得するよう努める。日頃より運動を取り入れて健康管理に努める。

課題・評価方法、その他

毎回授業内容の記録をすること。課題と発表に対するフィードバックは授業の中で行う。
評価方法、平常点70% 定期試験30%

欠席について

規定に従う。
欠席はマイナス評価の対象とする。

テキスト

プリント配布

留意事項

運動に相応しい服装と運動用靴で臨むこと

| | | | | | | |
|------------|-----|----|--------------------|------|-----|------|
| 総合科目〈総合科目〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 日本文化史 | | | 11353 | II | 春 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 箕野 聡子 | 選択 | 2 | 私立中学高等学校教員（科目「社会」） | | | |

授業の到達目標

日本史の概略を理解する。日本の伝統行事を理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのE（倫理）とI（知性）とを養う。

授業の概要

時代ごとに歴史の重要事項を確認する。さらにその時代の文化に注目し、その文化を題材として取り扱った現代の文学・文化作品を鑑賞する。

授業計画

- 年中行事 その壱
（正月について）
- 年中行事 その弐
（節分・3月3日・5月5日・衣替え・賀茂（葵）祭）
- 年中行事 その参
（夏祭り・天神祭・祇園祭・ねぶた祭り・竿灯祭・七夕祭・花笠祭）
- 年中行事 その四
（7月7日・盆・風祭・十五夜・十三夜・重陽の節会・神無月・七五三）
- 神々の歴史
『古事記』と萩原規子『空色勾玉』を読む
- 縄文時代・弥生時代
たつみや章『月神の統べる森で』を読む
- 邪馬台国・古墳時代
森嶋外『生田川』を読む
- 邪馬台国のあった頃の中国（魏）
吉川英治『三国志』を読む。
- 飛鳥時代
池田理代子『聖徳太子』を読む
- 大化の改新
里中満智子『天上の虹』を読む
- 奈良時代
手塚治虫『火の鳥』を読む
- 平安時代
大和和紀『あさきゆめみし』を読む
清少納言『枕草子』を読む
- 鎌倉時代
小泉八雲『耳なし芳一』を読む

- 戦国時代
遠藤周作『叛逆』を読む
- 江戸時代
菊池寛『忠直卿行状記』を読む

授業の方法

講義中心の授業である。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。平常点70%、定期試験30%

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて授業中に随時紹介する。

参考図書

必要に応じて授業中に随時紹介する。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。